

夢創造

平成31年4月26日（金）no.3 文責：上田

交通教室 危険予測力を高める

今週は家庭訪問による午前中授業での下校、27日からはゴールデンウィークの10連休と、子どもたちが家庭や地域で過ごす時間が増えます。それに伴って気になるのは事故です。交通事故防止はもちろん、水難事故等にも注意するよう、ご家庭でもお声かけ願います。

11日の交通教室では、阿蘇署及び交通指導員の山部さんらに安全な歩行・横断、自転車の安全な乗り方などについて指導いただきました。「～（大丈夫）だろう」ではなく「～かもしれない」「もし～」と危険を予測して行動することが大切だとあらためて学びました。

ペットボトルキャップの回収でワクチンが購入され、世界中の子どもたちが救われています。



書き損じはがき・ペットボトルのふたの回収で社会貢献 新たに4年生が子どもヘルパーに就任

学園では生徒会活動で「書き損じはがき」や「ペットボトルのふた」を回収して社会福祉法人などに送付する社会貢献活動を続けています。

先日、書き損じはがきの寄付に対する礼状が届きましたので紹介します。子どもたちの善意が社会に役立てられることはよろこびです。今後ともご家庭のご協力をお願いします。

また、23日（火）には、本年度の子どもヘルパー任命式が行われました。新たに子どもヘルパーに任命された4年生、これまで数年のヘルパー経験のある5年生から7年生たちが地域の方々とのふれあいを通して様々なかかわりを深めてくれることを期待しています。

これから数十年後、子どもたちが社会の主役となる時代は、人との『かかわり』が今まで以上に求められると言われていています。その資質を磨く場として、子どもヘルパー活動を通して人のぬくもりなどを学んでくれることを期待しています。

社会福祉協議会や地域の民生委員の皆様には大変お世話になります。

